

<松瀬学>

1983（昭和58）年、早稲田大学卒業。ラグビー部所属。スポーツをメインとしたノンフィクションライター。スポーツはことし、ラグビー、プロ野球、大相撲などを取材。11月にはアジア大会（中国・広州）取材予定。新聞（東京新聞『スポーツ時評』）、雑誌（ナンバー、プレジデント、週刊朝日など）、WEB（小学館「女子ラグビー」、週刊朝日「映画評論」など）に原稿執筆。目下の著作テーマが『藤本隆宏評伝』、『女子ラグビー』『東京スカイツリー』『早慶戦』。

8月下旬に50歳の大会に。モットーが「感謝」

<レジメ>

①藤本隆宏（早稲田1993年卒業。40歳）～五輪水泳選手・俳優

水泳部OB。「坂の上の雲」の広瀬武夫役でブレイク。

1988年ソウル五輪、92年バルセロナ五輪出場。ミュージカル「レ・ミゼラブル」に感動して役者に転身。劇団四季のオーディションで「僕は天才」と豪語。

うつ脱却のため高野山登山。「早稲田魂とは“他人を思いやる心”」

②早稲田スポーツと早稲田魂は。

体育会44部。OB有名人多数。ダブル岡田（野球の岡田彰布とサッカーの岡田武史）

現役も。福原愛問題は「福原にとっても早稲田にとっても不幸」

なぜ強いのか。「ヒトとモノとカネ」。スポーツ推薦制度の変遷。「過剰では」。

③大東和美。～Jリーグ新チェアマン

1970年度卒業。ラグビー部OB。早稲田魂とは「闘争心」「勝利への執心」

宿沢広朗「勝つことは善である」。早稲田は毎年、大学日本一をめざす。

④大西鉄之祐。～アマチュアの権化・ラグビー指導者

名指導者。ラグビー部監督。「闘争の倫理」。人の道に反する生き方はよくない。準備と実践。「道理にしたがってすみやかに決断する」。個人的な思い出～夏合宿。トイレ指令。

「信は力なり」「早稲田魂とは荒ぶる魂」

⑤奥克彦。～ラグー外交官。

1981年、政経学部卒業。ラグビー部中退。2003年11月29日死去。

早稲田魂とは『ノーブレス・オブリージュ』。～恵まれた才能と環境に生まれた真のエリートは率先して社会の責務を果たす義務がある。

一本目のこだわり。<イラクを駆け、日本を想う>。

⑥清宮克幸。～指導者・スポーツ・ニューリーダー

1990年、卒業。43歳。リーダーになるために生まれた男。実利主義者。

⑦河合純一。～全盲スイマー。パラリンピックメダリスト。

1998年、卒業。参議院選挙落選。「目がみえないからこそ、見えるものがある」

義理人情浪花節。「ぶれない軸を持ち、ひたむきに前進すること」

早稲田魂とは逃げない心。あきらめない。

⑧まとめ

早稲田魂とは、困難に打ち勝つこと『義』。逃げないこと『勇気』他人を思いやる心『仁』